



..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....
SUITA ESAKA ROTARY CLUB
CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27
事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
会長: 寺井正昭 幹事: 成松 重人 会報委員長: 田中 弘

2012年11月27日 第1069回例会(第1068号)

🌀 本日の例会 🌀

📀 今週の歌 「それでこそロータリー」

📀 卓話 「心ココロ心ココロ」

漫画家・漫遊書家・講演家

黒田クロ様

(赤尾会員紹介)

🌀 次回例会のお知らせ(12月4日) 🌀

「年次総会」

📄 前回【11月20日】例会記録

📅 会長の時間 寺井 会長

この間、香川県で警察犬「きな子」の娘の「こむぎ」と「みりん」が県警察犬競技大会の臭気選別部門に参加したというニュースが出ていました。この大会で成績優秀な犬は警察犬になれますがこの2頭は過去4回不合格で今回が5回目の挑戦だそうです。母親の「きな子」は6年連続で試験に落ち、そのドジぶりが可愛いと人気を呼び映画化されました。その「きな子」も7回目の挑戦で見事トップの成績で合格し警察犬になることが出来ました。

犬の臭覚は人間の100万倍とも言われています。空港で麻薬の探知をしている警察犬をよく見かけますが、この間、がん患者を臭いで見分ける犬がいるという事を聞きました。この犬はがん患者の尿の臭いをかいで見分けることが出来るそうです。

犬の臭覚は500メートル先の臭いをかぎわけることが出来るそうですが、動物の中で最も臭覚が鋭く

「ギネスブック」に載っているのは、ヤマヤユガの一種で『エウディア・パボニア』というガのオスは11キロメートル離れた風上にいるメスの臭いを探知できたそうです。

「こむぎ」と「みりん」の結果発表は12月にあるようです。見事「きな子」の後を継げることを祈っています。

📄 幹事報告 成松 幹事

地区大会の名札とご案内をBOXに配付しました。当日は必ず名札をご持参ください。地区大会第2日目の特別講演の入場整理券が若干あります。会員のご家族、友人知人など、ご希望の方は幹事までお申し出ください。

📄 ニコニコ箱

長島 会員 飛田さん、田中(弘)さん、北村(雅)さん、先週はお世話になりました。

📄 出席報告 吉野 委員

【11月20日】
在籍会員 37名(内出席規定適用免除者 10名)
出席会員 22名(内出席規定適用免除者 5名)
ホームクラブ出席率 68.75%

10月30日のMUを含む出席率 94.29%

関西大学 R A C 例会出席担当
Aグループ 山崎、東、堀田、北山、長島、
田中(茂)、渡辺各会員

12月10日(月)・17日(月)

会場：関西大学千里山キャンパス
中央体育館 図書資料室

時間：19:00~20:00

田中(弘)会員 結婚記念日のお花、ありがとうございました。

田中(茂)会員 本日の卓話よろしく。

本日分 25,000円

累計 578,000円

卓 話

「これからのエコハウス」

田 中 茂 晴 会 員

「エコハウス」とは「心身に、財布に、環境にやさしい住宅」の事です。

〔1〕心身にやさしい

健康リスクが少ない、健康を増進するということですが、心身=身体だけでなく心にもやさしいのがポイントで、快適さや居心地の良さといった五感で感じる部分への配慮・工夫も不可欠です。

(A)シックハウス

建材、設備、家具等に含まれる有害物質による健康被害で2003年に「ホルムアルデヒド」「クロルピリホス」の使用が規制されました。有害物質を排出するため機械換気が義務化されました。

(B)アレルギー

アレルギーは住宅におけるアレルギーの発症要因(アレルゲン)としてダニ・カビがあり、その発生につながる結露や高温多湿な環境を改善することが必要です。そのために高断熱、高气密化することが基本となります。

(C)ヒートショック

住宅内の温度差によって血圧が乱降下し、心臓麻痺を起こすことをいいます。特に、入浴時に発生。ヒートショックの防止の基本は、住宅内の温度を一定にすること。断熱、気密化が必要になります。

温度差の大きい家は、人にも家にもストレスとなります。

(D)快適さ、居心地の良さ

心地よさの基本は暑さ、寒さに対する工夫と給気、排熱設備の活用で行う。また、日当たりの良さ、風通しの良さにも配慮すること。

〔2〕財布にやさしい(省コスト、小コスト)

(A)家のコストはライフコストで考える

家のコストは建築費と暮らしている間にかかる「光熱費」「修繕費」「税金、保険料」そして「解体費用」などがあります。これらをトータルで考えたものを『ライフサイクルコスト』といいます。

(B)長寿命化(2世帯で住み継ぐいい家)

今までの日本の住宅はたくさんのエネルギーを

消費し、それによって生産を増やし、生活を豊かにするというスクラップ&ビルド型でしたが、これからはいいものを作り、きちんと手入れをして長く大切に使うストック型の家づくりへの方針を国も打ち出しています。2世代で永く住む「いい家」を促進するため2008年に「長期優良住宅認定制度」が始まりました。

日本の住宅の平均寿命26年、アメリカ44年、イギリス75年

日本の住宅は何の長寿命対策もとられずに建てられた家がほとんどで、基礎も弱い、耐震性もない、断熱性能や気密性も低く、光熱費のかかる家がほとんどです。

〔3〕環境にやさしい

(A)CO₂排出量の削減

環境先進国のドイツでは、賃貸住宅や中古住宅でもその家の持つ『省エネルギー性能』によって家が選ばれています。2008年からドイツではすべての新築住宅に対して年間のエネルギー消費量、CO₂の排出量の表示を義務付ける「エネルギーパス制度」がスタートしました。これはその建物が1年間にどれだけのエネルギーを必要とするかを誰にでも分かるように表示するものです。

(B)ゴミの抑制

ゴミを出さないことも「エコ」の重要なポイントです。ゴミを減らす基本は「リユース(再使用)」「リサイクル(再利用)」「リデュース(減量)」の3Rです。

設備が老朽化して丸ごと改築しなければならなくなった時、設備や間取りを変更しようとしても、構造上難しいような家では、結局時代の変化に対応できず、解体されてしまいます。

そこで、スケルトン(構造体)とインフル(内装、設備、間仕切り)を最初から分離された設計がなされ、スケルトン(構造体)についてはしっかりした耐久性、耐震性を持ち、インフルだけを変更が容易にできるようにしておけば、次の世代に引き継がれていきます。「スケルトン・インフル」工法の家づくりが基本になります。